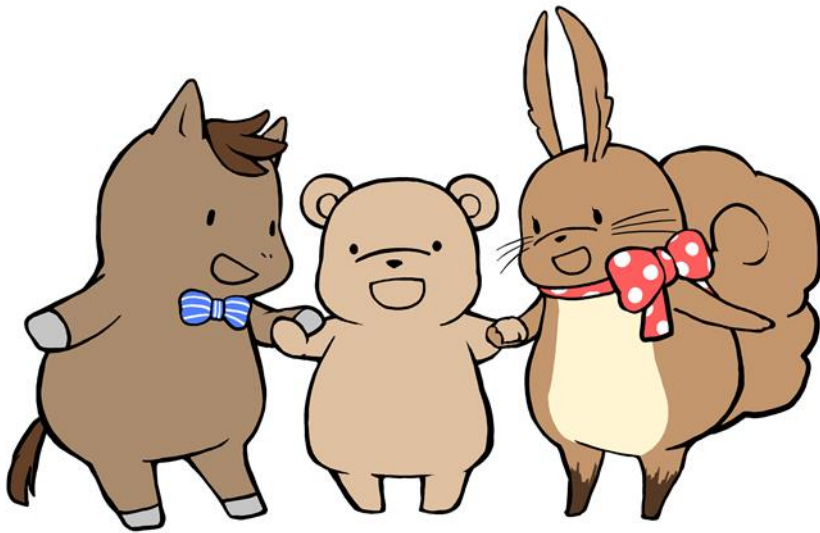


コミュニティ・スクールの仕組みと 帯広市の取組状況について



帯広市教育委員会
令和元年5月17日

コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「**学校運営協議会**」という学校、家庭、地域等の代表で構成する協議会を設置した学校のことです。

地域の声を学校運営に生かしながら、**学校と地域が一体となって**子どもたちの健全な育成に取り組んでいくことを目的としています。

学校運営協議会の役割は？

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の6

法律で規定

もっと分かりやすく

もう少しだけ具体的に

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会で学校支援や地域における子どもの教育活動などについて話し合います（**熟議**）。

熟議の内容をもとに学校・家庭・地域が連携した取組み（**協働**）を行うことにより「地域とともにある学校づくり」を目指します。



学校運営協議会

参加者（例）

- ・保護者
- ・地域住民
- ・ボランティア関係者
- ・学識経験者



熟議のテーマ（例）

- ・子どもの様子について
- ・学校行事について
- ・地域行事について
- ・通学路の安全対策について
- ・学習習慣の定着について など

熟議により出された意見やアイデアをもとに、学校・家庭・地域それぞれができることを考え、連携・協働した活動につなげる。



地域防災訓練協力

花壇整備



熟議

協働

これまでとどこが変わるの？

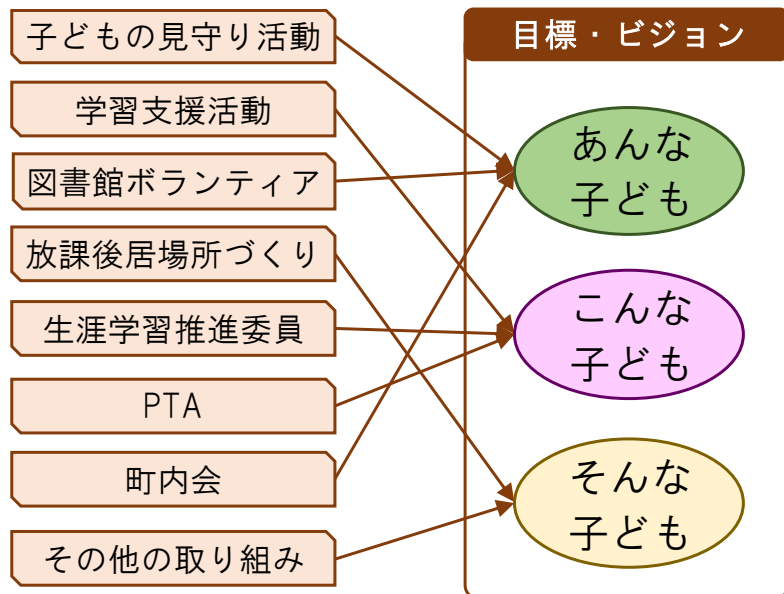
目標・ビジョンの共有

これまでの取組みが大きく変わるわけではありません。

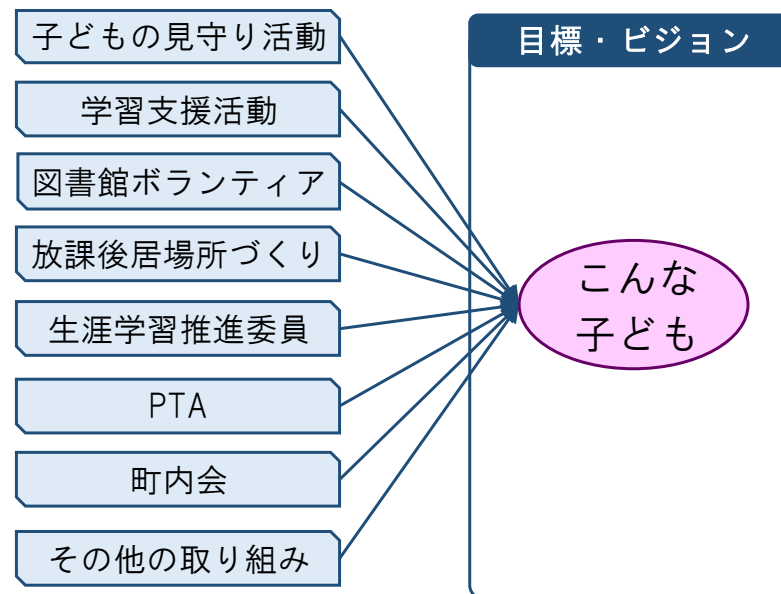
ポイントは、学校・家庭・地域が「どのような子どもを育てたいか」という目標やビジョンを共有することです。

共有した目標やビジョンに向かって、それぞれ何ができるかを考え、連携・協働した取組みにつなげます。

これまで



これから



取組事例① ～浦幌町の事例～

上浦幌学園 目標

上浦幌学園
「目指す学園生像」

学校での取組

家庭での取組

地域での取組

子どもの取組

故郷を思い、将来を切り拓く
”心“ある子ども

自ら考え
学ぼうとする
子ども

1. 学校内外で毎日継続して学習しようとする子どもを育てる。
2. 体験学習の充実(地域人材活用等)を図り、子どもの学ぶ意欲を育む。

1. 子どもが自分で予定を立てて勉強や読書などに取り組めるよう支援する。
2. 子どもの頑張りを認め、励ます。

1. 長期休業中など学べる環境を作る。
2. 得意分野、専門分野等、必要に応じて学校での授業や活動に協力する。

1. 授業で先生の話をよく聞く。
2. 真剣に授業を受ける。
3. 家庭学習に毎日取り組む。

人とかわわり
心豊かに
思いやる
子ども

1. 挨拶、返事、感謝の気持ちを進んで表現できるようにする。
2. 集団生活を通して、達成感や成就感を味わえるようにする。
3. 地域と連携し、地域の方々から生き方などの知恵を育む。

1. 夕食を通して親子のコミュニケーションの時間を確保する。
2. 親は子どもの手本となるよう心がける。

1. 大人が子どもに挨拶などの手本を示す。
2. 地域の子どもは地域で育て、子どもの規範意識を育む。

1. 元気な挨拶をする。
2. よりよい人間関係を築く。

健やかで
たくましい
子ども

1. 生活のリズムを整え、自分の体を大切に育てる子どもを育成する。
2. 運動の習慣やチャレンジマラソンを推進する。

1. よりよい基本的な生活習慣を身につけさせる。
2. 自分のことは自分でできるよう支援する。

1. 子どもたちが参加できるイベントを企画し、子どもたちの成長につながる活動を行う。

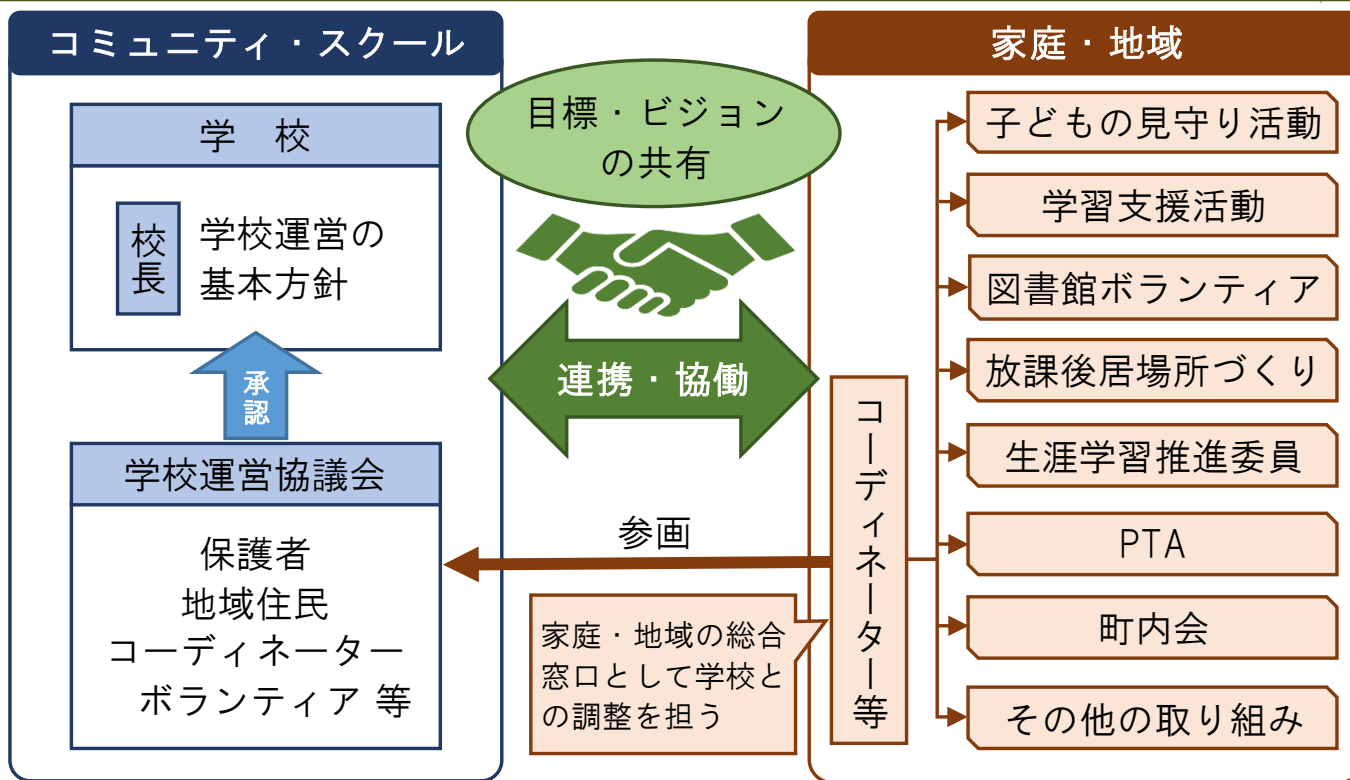
1. 自分から意識して運動を心がける。
2. 食べ物の好き嫌いをなくす。
3. 規則正しい生活をする。

これまでの取組みとの関係は？ ①

学校支援地域本部・PTA等との関係は？

コミュニティ・スクールの取組みを通じて、それぞれが目標やビジョンを共有して、子どもたちの健全な育成に向けた主体的な活動を促進します。

学校支援地域本部のコーディネーター等が、家庭・地域の総合窓口として学校との調整機能を果たすことによって、連携・協働を推進します。



これまでの取組みとの関係は？ ②

学校評議員との関係は？

学校評議員制度は、保護者・地域住民の意見を聞き、理解・協力を得て特色ある教育活動の展開を期待するものです。

学校評議員制度に期待される役割は、学校運営協議会が包含しているため、コミュニティ・スクールを導入した学校は、学校評議員制度を廃止する予定です。

※学校評議員制度と学校運営協議会の違い

学校評議員は、学校教育法施行規則に基づき、校長の求めに応じて、個人としての立場で、学校運営に関する意見を述べるもので、学校運営に直接関与したり、拘束力のある決定を行ったりするものではありません。

学校運営協議会は、教育委員会や校長に学校運営、教職員人事について意見を述べることができる一定の権限を有する合議制の機関です。

取組事例② ～1年間の流れ～

第1回協議会

- 今年度の学校運営の基本方針の承認
- 学校運営の年間計画・業務内容、重点活動項目についての協議

承認した学校運営の基本方針を受け、目標を共有し、その実現に向け、重点的に取り組む活動を協議



第2・3回協議会

- 学校運営の取組状況について協議（報告・確認）
- 重点活動項目の活動状況について協議（評価・改善）
- 学校・地域における課題とその改善策について協議

授業を充実させたい

地域全体の安全意識を高めたい



いちごハウスでの観察・栽培

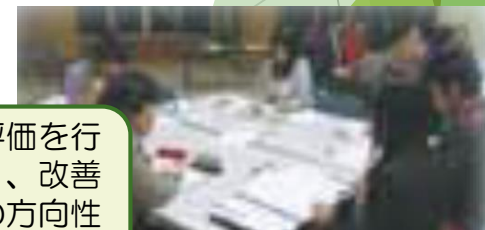


「CS防災訓練」

第4回協議会

- 今年度の学校運営の評価と改善策の協議
- 次年度の学校運営、協議会の方向性の協議

学校運営の評価を行うだけでなく、改善策と次年度の方向性について協議



帯広市の取組状況

コミュニティ・スクールの導入

- 本年10月より8校でコミュニティ・スクールを導入します。
- 今後3年程度で、市立の全小中高校でコミュニティ・スクールを導入するよう、導入校の拡大を推進します。

協議会の設置単位

- 学校運営協議会の設置については、1校1協議会を基本としつつ、相互に密接な連携を図る必要がある場合には、複数の学校が合同で1つの協議会を設置することも可能とします。

協議会の構成

- 学校運営協議会は、校長及び10名程度の委員により組織します。
- 委員は、保護者、地域住民、対象学校の運営に関わる活動を行う者、学識経験者、その他教育委員会が適当と認める者から選任します。

まとめ

コミュニティ・スクールの概要

- コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校を指します。
- 学校運営協議会は、「校長が作成した学校運営の基本方針を承認する」役割があります。
- その過程を通じて、学校・家庭・地域が「どのような子どもを育てたいか」という目標やビジョンを共有することが重要です。
- 共有した目標やビジョンに向かって、それぞれ何ができるかを考え、連携・協働した取組みにつなげます。

帯広市の取組状況

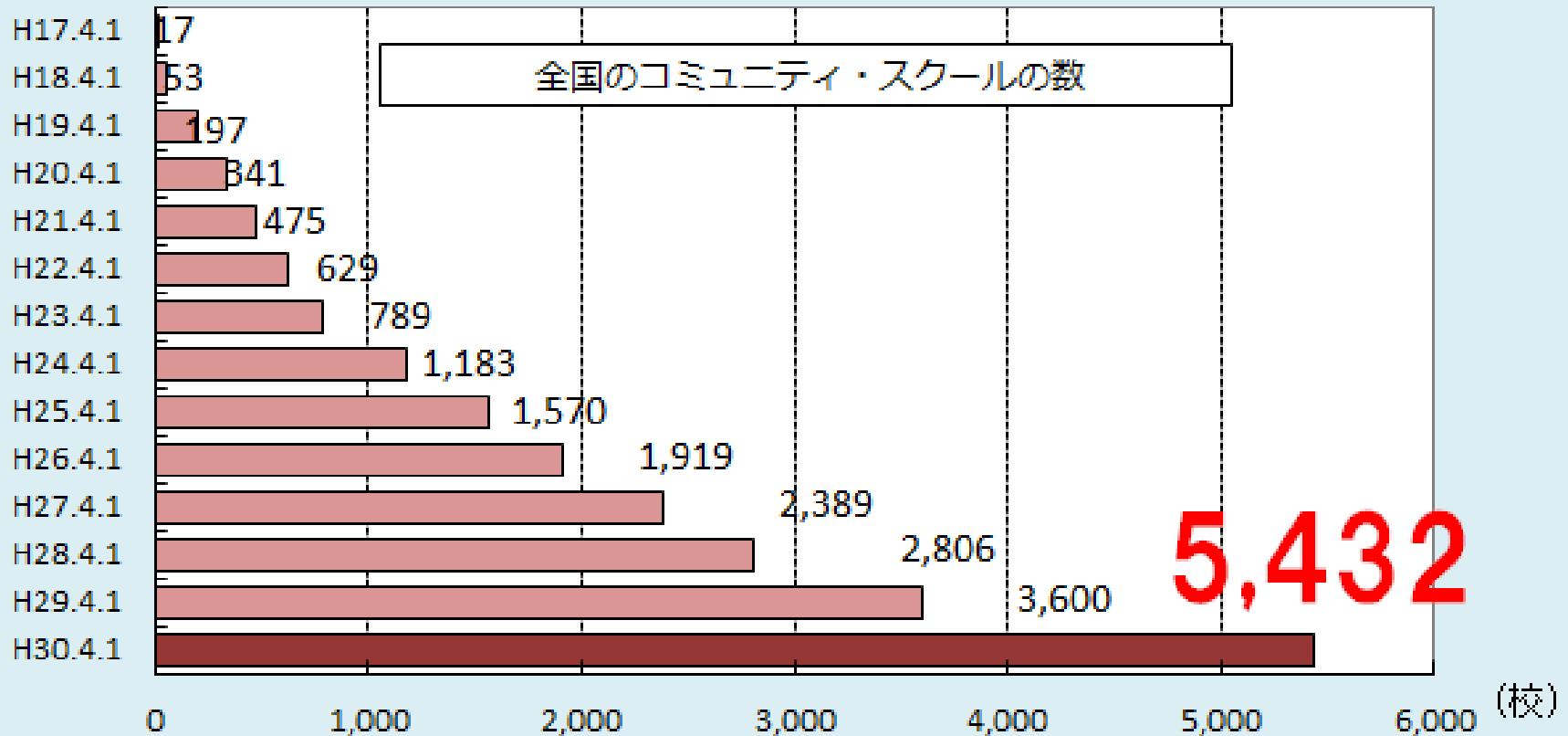
- 帯広市では、本年10月よりコミュニティ・スクールを導入します。
- 今後3年程度で、市立の全小中高校でコミュニティ・スクールを導入するよう推進します。

ご説明は以上です。
ありがとうございました。

ご質問・ご意見等ございましたら、
お願いいたします。

參考資料

全国のコミュニティ・スクールの数



(出典) 文部科学省コミュニティ・スクール導入状況調査 (平成30年4月1日現在)

なぜ今、コミュニティ・スクールなのか？

子どもを取り巻く環境の変化

- 少子高齢化の進行と人口減少社会の到来
- 急速なグローバル化・情報化の進展
- 共働き世帯や一人親家庭の増加
- 貧困や虐待など複雑な家庭環境で育つ子どもの増加
- 学校教育に対するニーズや価値観の多様化

学校が抱える課題の複雑化・困難化

学校・家庭・地域がそれぞれの役割に応じて、
一体となって教育に携わることが必要

保護者・地域にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。
- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域のネットワークが形成されます。
- 学校と地域が一体となった防犯・防災等の体制が構築できます。

など